

## 退任のご挨拶

日本顕微鏡歯科学会の会員の皆様あけましておめでとうございます。日頃は学会活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。2004年に立ち上げた本学会はすでに約1600名の会員を有し、学会活動も学術大会、総会、認定試験、サテライトセミナー、シーズズセミナー、歯科衛生士セミナー等充実したものとなりました。



初代代表世話人として学会の立ち上げを行い、初代会長の中川寛一先生から2011年に会長職を引き継ぎ、ここまでやってこられたのも会員の先生方、法人会員の企業の方々のご協力あつてのものです。会長職についてから学会誌の発刊やイヤブックスの発刊など大きな変化がありました。多くの若い先生方が積極的に参加してくださる学会として、他学会や歯科界関係者から注目をされるまでになりました。

残念なことは日本歯科医学会の認定分科会になかなか認めていただけなかったことです。そのため、本年から三橋純会長新体制の下、学会を一般社団法人化し、次のステップへ行けるよう私も新会長三橋純先生を支えていく所存です。

これまでに先生方から頂いたご厚情は決して忘れることはありません。今後も、日本顕微鏡歯科学会発展のためご協力いただけますようお願いいたしますとともに、会員の皆様の益々のご発展とご健勝を衷心からお祈りいたします。

日本顕微鏡歯科学会 前会長 辻本恭久